

## 第3回リハエ・ミライアッセンブリーに参加して

加藤 有香

- 1) 福祉用具プランナー研究ネットワーク（プラネット）愛知
- 2) 一般社団法人 日本 ALS 協会 愛知県支部

### 1. はじめに

オンラインで開催された「第3回リハエ・ミライアッセンブリー」に参加させていただきましたので、報告します。

### 2. 概要

日時：2023年1月29日（日）13:30～14:30  
会場：Zoom ミーティング

プログラム：

- ① 挨拶、連続セミナーの目的説明
- ② なごや福祉用具プラザ展示場と新製品の紹介
- ③ 相談業務のオンライン化について紹介とディスカッション
- ④ 意見交換

### 3. 当日の内容と感想

なごや福祉用具プラザは、名古屋市昭和区にある介護実習普及センターです。当日の展示場案内は手持ちカメラを使いながら紹介されていました。話し手の顔や実際の用具を撮影しながらの配信で、受講



図1 展示場案内の様子

者がイメージを沸かせやすく嬉しい伝え方だと感じました（図1）。

日本福祉大学の渡辺教授から「ソーシャルディスタンス状況下における支援技術サービスの実施方法に関する調査」が発表され、その中にリモートでの福祉用具の適合支援事例がありました（図2）。わたし自身、実際コロナ禍でリモートでのATサポートを受けましたが、電話のみに比べてとても効率の良いやりとりができました。一方で、対象物の映し方や言葉にする能力の必要性など、モニター越しの相手にどのようにして伝えるかというオンラインならではの難しさも感じました。共通言語や一定の知識技術を要する場面もあるのではないのでしょうか。

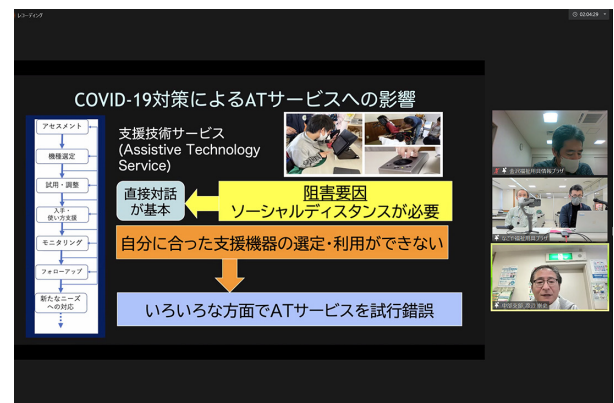


図2 渡辺教授による報告の様子

ソーシャルディスタンス状況下に限らず、身体状況や環境により支援が止まってしまう例が少なくありません。決まった人がケアに入るとは限らないことや、「困ったときに誰に聞いていいかわからない」という状態が現場では数多く存在します。オンライン相談の窓口があることで、利用者がいつでもどこからでも一定のサポートを受けることができると感じました。また、多くの支援者の学びの時間にもなることを強く期待します。

- 1) 福祉用具プランナー研究ネットワーク（プラネット）愛知
- 2) 日本 ALS 協会 愛知県支部